

公益財団法人ソニー音楽財団
(S o n y M u s i c F o u n d a t i o n)

2024年度 事業報告書
(2024年4月1日～2025年3月31日)

I. 方針

当財団の2024年度事業は、新中期事業計画に基づき、これまでの事業を充実させ、音楽を通して子どもたちの教育につながる活動を行うべく、より良い事業の選択と集中を推進していくとともに、来期に実施を計画している第2回「こども音楽フェスティバル」の開催準備を行い、当財団の社会的評価を高めるよう努めました。

II. 事業

公益目的事業1. 音楽、オペラ、舞踊等の普及向上事業

(1) 「Concert for KIDS～0才からのクラシック®～」他の開催

「生まれた赤ちゃんにも生のクラシックを聴かせたい」、「ぜひ生まれた子供と一緒に聴けるコンサートに行きたい」というお客さまの声から1999年に誕生した、未就学児とその家族を対象としたクラシック・コンサートです。

出演者はピアノ、ヴァイオリン、チェロ、フルート、トランペット、トロンボーン、マリンバ、弦楽カルテット、オペラ歌手や童謡歌手など多岐に渡り、地域やホールに合わせ、さまざまな内容・構成で開催しています。

今年度は、シリーズ25周年キャンペーンとして開催にあたり出演者の旅費を当財団が負担し、全国で各主催者が公演開催を実現しやすくする施策を展開しました。

2024年

6月23日(日)	蓮田市総合文化会館ハストピア(埼玉県)
7月7日(日)	黒部市国際文化センター(コラーレ)(富山県)
7月21日(日)	鹿島市生涯学習センター・エイブル(佐賀県)
7月28日(日)	名護市民会館(沖縄県)
8月18日(日)	音更町文化センター(北海道)
9月1日(日)	函館市芸術ホール(北海道)
9月16日(日)	関市文化会館大ホール(岐阜県)
9月21日(土)	浦安音楽ホール(千葉県)
12月15日(日)	水戸市民会館(茨城県)

2025年

1月11日(土)	箕面市立メイプルホール(大阪府)
1月19日(日)	三原市芸術文化センター ポポロ(広島県)
3月2日(日)	プラム・カルコア太宰府市民ホール(福岡県)
3月23日(日)	加美町中新田文化会館(中新田バッハホール)(宮城県)

全13公演

(2) 子ども音楽新聞

演奏会に出かける日までのモチベーションを高め、興味を持続させる「子ども音楽新聞」を発行し、音楽や演奏家、作曲家についての豆知識を案内しています。今年度は計1刊を発行し、過去に発行した刊についてもウェブ上でアーカイブ化を進める予定でしたが、今年度は発刊いたしませんでした。

公益目的事業2．国際的コンクール等の開催事業、芸術家の顕彰事業及び芸術家の研鑽に対する助成事業

(1) 齋藤秀雄メモリアル基金賞

2002年度に創設された「齋藤秀雄メモリアル基金賞」はチェリスト・指揮者・教育者として高名な故・齋藤秀雄（1902－1974）氏に因むものです。

2000年3月17日に齋藤秀雄氏未亡人・齋藤秀子氏が90歳で逝去され、氏の遺言公正証書第参条に「財団法人ソニー音楽芸術振興会（現・公益財団法人ソニー音楽財団）は、遺贈された財産で振興会の中に『齋藤秀雄メモリアル基金』を設け、この基金により若手チェリスト、指揮者の発掘、育成を目的とした顕彰制度を実施して下さい。」と記載がありました。

これは、その十数年前、同家の資産運用の相談を受けた当財団初代理事長・故大賀典雄が同家の資産を買取った経緯があり、そのことに因ると思われます。齋藤秀子氏の遺言執行者である中央三井信託銀行から当財団に、306,483,968円の遺贈金が寄せられました。

当財団理事会、評議員会で審議の上、齋藤秀子氏の生前の希望により、大賀が小澤征爾氏（指揮者）、堤剛氏（チェリスト）とも協議した結果、この遺贈金は「齋藤秀雄メモリアル基金」として運用することになりました。この基金の利息収入により2002年度から毎年度「齋藤秀雄メモリアル基金賞」を授与することが決定しました。

2021年度より小澤征爾氏が名誉顧問に就任するとともに、以後選考委員長に当財団理事長が就任することとし、受賞者を選定の上、理事会において決定することといたしました。

当賞の内容は以下の通りです。

今年度はチェロ部門を北村陽が受賞、指揮部門は太田弦が受賞しました。

1. 名称

「齋藤秀雄メモリアル基金賞」

2. 選考対象

音楽芸術文化の発展に貢献し、将来一層の活躍が期待される、若手チェリスト、指揮者。

チェリストと指揮者を各々1年度に1人顕彰することを原則とする。

但し、適切な該当者がいない場合は顕彰しない。

3. 選考方法

音楽関係者からの意見等を参考に、選考委員会で、選考委員が候補者を選出し、全員で選考の上、受賞者を選定し、理事会において決定する。

選考委員会は、顕彰年度の上半期に開催することを原則とする。

4. 選考委員の選定

(選考委員長)

選考委員長は当財団理事長が担うものとする。

(永久選考委員)

永久選考委員は下記の通りとする。

永久選考委員： 堤 剛 氏 (チェリスト)

(任期制選考委員)

上記永久選考委員以外に任期制の選考委員を3名置く。任期制選考委員は理事会に於いて選任し、任期は3年とする。任期制選考委員に欠員が生じた場合には、理事会に於いて後任を定める。任期制選考委員への謝礼は年5万円(手取り)とする。

選考委員へは選考委員会出席時に別途1万円(手取り)を「お車代」として支給する。

5. 名誉顧問の選定

名誉顧問は下記の通りとする。

名誉顧問：小澤征爾 氏 (指揮者)

6. 賞

・ 楯

・ 賞金 当該年度毎に1人500万円 (総額1,000万円)

7. 受賞者発表時期、方法

顕彰時期を考慮して、当該年度毎に適切な発表時期を定める。受賞者はマスコミに公表し、当財団ホームページでも公表する。

8. 顕彰時期

当該年度毎に適切な時期を定める。

9. 主 催：公益財団法人ソニー音楽財団

特別協力：公益財団法人サイトウ・キネン財団

セイジ・オザワ 松本フェスティバル実行委員会

（２）「齋藤秀雄メモリアル基金賞」受賞者に対する支援

２００２年より創設、毎年１名ずつ若手チェリストと指揮者を顕彰している「齋藤秀雄メモリアル基金賞」の更なる意義を深め、才能ある若手演奏家である当賞の受賞者の活動を支援し、演奏の機会を与えることを目的とした事業です。

今年度は過去受賞者４名によるチェロ・アンサンブル公演を開催しました。

東京・春・音楽祭２０２５ 伊藤悠貴、笹沼 樹、新倉 瞳、横坂 源
齋藤秀雄メモリアル基金賞受賞者によるチェロ・アンサンブル

【日程及び会場】

２０２５年３月１５日（土） [東京都] 東京文化会館小ホール

出演：伊藤悠貴、笹沼 樹、新倉 瞳、横坂 源（チェロ）

主催：東京・春・音楽祭実行委員会、公益財団法人ソニー音楽財団

計１公演開催

公益目的事業３．子供への音楽を通した教育活動に対する助成事業

（１）ソニー音楽財団 子ども音楽基金

日本でも７人に１人の子どもが貧困（厚生労働省「２０１６年国民生活基礎調査」）であることが問題視される中、経済的理由をはじめとした、さまざまな背景により音楽活動がままならない子どもたちへ、２０１９年にその活動を支援する「ソニー音楽財団 子ども音楽基金」を設立いたしました。

原則として１８歳未満の子どもに音楽を通した教育を行う団体の活動を対象に、外部識者による選考委員会による選考を行い、理事会にて決定いたします。

今年度は２０２５年度分を対象に公募を行い、計１２の団体の活動を採択し、総額９，７４３，５２３円の支給を決定いたしました。

（以上）